

令和7年度多摩地区国立大学大学院単位互換制度による 東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）特別聴講学生募集要項

1. 本制度の実施趣旨

本制度は、多摩地区国立4大学大学院間の相互の交流と教育の充実を図ることを目的とする。本学大学院で授業科目を履修し、修得した単位は、学生の所属する大学院において修得した単位として認定される。

2. 出願資格

東京外国語大学大学院、電気通信大学大学院及び東京農工大学大学院に在籍する博士前期課程又は修士課程1年以上の大学院学生で、科目等履修生、研究生及び委託研究生等を除く。

3. 授業料等

特別聴講学生の検定料・入学料及び授業料は徴収しない。

4. 開放科目

別紙「令和7年度多摩地区国立大学大学院単位互換制度開放科目」のとおり。

シラバスは3月下旬より本学 Web ページ <https://www.u-gakugei.ac.jp/> で閲覧可能

(トップページ→大学院・専攻科→授業ガイド(シラバス検索)→「大学院教育学研究科(修士)」)

【注】授業科目によっては「オンライン開講」になる可能性があります。その場合、十分なインターネット通信環境とオンライン学修のスキルをお持ちではないと、合格しても授業科目の履修ができなくなる可能性があります。出願に際してはご注意ください。

5. 出願手続

本学の特別聴講学生を希望する者は、所属する大学の担当窓口にて「東京学芸大学大学院教育学研究科特別聴講学生入学願」及び「成績証明書」を提出すること。

6. 受入れ可否の通知

所属大学を通じ、春学期は3月下旬（予定）、秋学期は9月下旬（予定）に通知される。

7. 履修期間

履修する授業科目が開講される学期又は年度とし、1年以内とする。

8. 試験の実施方法

履修科目の試験については、授業担当教員が学期末に行う筆記試験又は研究報告等により行う。受験上の取扱及び追試験の実施等については、本学の規則による。

9. 本学の施設の利用

履修上必要な施設・設備（附属図書館、食堂等）を利用することができる。なお、通学する際には本学が発行する「特別聴講学生証」及び派遣大学の学生証を携帯すること。

10. 授業時間

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限	第7時限
8:30～ 10:10	10:20～ 12:00	12:50～ 14:30	14:40～ 16:20	16:30～ 18:10	18:20～ 20:00	20:10～ 21:50

11. 本学へのアクセス 詳細は本学 Web ページを参照（トップページ→「アクセス」）

J R武蔵小金井駅 北口より

【京王バス】〔5番バス停〕「小平団地」行に乗車、約10分 「学芸大正門」下車

J R国分寺駅 北口より

【銀河鉄道バス】「国分寺駅北口」より「小平駅南口」行に乗車、約10分 「学芸大学・辻調理師専門学校東京」下車（本学北門から入構）

【徒歩】約20分

自動車・オートバイによる本学への通学はできないので注意すること。

〔担当〕 東京学芸大学 大学院課修士課程係
電話：042（329）7704

(別紙様式2)

東京学芸大学大学院教育学研究科特別聴講学生入学願

年 月 日

東京学芸大学長 殿

フリガナ		写真貼付 3cm×4cm 脱帽上半身 正面
氏名		
在籍大学	大学大学院 研究科 専攻 年 在学中	
現住所	〒 ー 電話番号： () メールアドレス：	

私は、下記のとおり特別聴講学生として東京学芸大学大学院教育学研究科に入学したいので、ご許可くださるようお願いいたします。

記

1. 履修期間 年 月 日 ~ 年 月 日

2. 本学授業科目の履修を履修する理由

.....

.....

.....

3. 履修を希望する授業科目

専攻等	授業科目名	担当教員氏名	単位数	学期	曜日	時限

(別紙様式)

多摩地区国立大学大学院単位互換制度による
他大学大学院の授業科目履修願

年 月 日

東京外国語大学長 殿

ふりがな 氏名		性別	男 ・ 女
住 所	〒 TEL E-mail		
東京外国語大学 _____ 研究科 _____ 専攻 _____ コース _____ 年 学籍番号 _____			

単位互換に関する協定により、下記のとおり他大学の授業科目を履修したいので許可願います。

記

1 受講理由及び目的

2 履修科目

大学名・研究科名	専攻名	授業科目名	担当教員名	単位	学期	曜日	時限

3 主任指導教員氏名

出願にあたり裏面の「単位互換に関わる個人情報の取り扱い」を確認の上、出願手続書類で知り得た個人情報および特別聴講学生としての成績評価に関する個人情報が、単位互換協定に基づき所属大学および受入大学間で授受されることに同意します。

単位互換に関わる個人情報の取り扱い

所属大学および受入大学は、出願書類で両大学が知り得た個人情報及び特別聴講学生としての成績評価に関する個人情報を、次の業務に限り使用します。

- (1) 所属大学における派遣手続関連業務及び派遣後の履修・単位認定・証明書発行等のための学籍管理並びに事務連絡。
- (2) 受入大学における受入手続関連業務および受入後の特別聴講学生としての履修・成績評価・特別聴講学生証交付・施設利用等のための学籍管理ならびに事務連絡。

東京学芸大学大学院教育学研究科 (修士課程)

令和7年度

多摩地区国立大学大学院 単位互換制度開放科目

シラバスはホームページで提供しています。

<https://gportal.u-gakugei.ac.jp/syllabus/search/>

令和7年度大学院教育学研究科(修士)

次世代日本型教育システム研究開発専攻

専攻基盤科目

科目区分	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1~5限	6~7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻基盤	次世代日本型教育と国際社会	2	○下田誠、若林恵、出口雅敏、橋村修、水津嘉克	アジアやヨーロッパなど諸外国の教育と社会をめぐる諸問題について考察・議論する。		○		水6			AL1教室	16110030

専攻展開科目

科目区分	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1~5限	6~7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻展開	次世代日本型教育:理論と実践・基礎	2	小森伸一	日本の教育で重視される「生きる力」と「体験」を主題に、昨今注目される「グリット」「レジリエンス」「自己肯定感」「自尊心」等の非認知能力の向上に着目しつつ検討していく。	○		火4					16130010
専攻展開	次世代日本型教育:理論と実践(地域A)	2	水津嘉克	社会学の考え方に即したかたちで、現代社会の中の様々なテーマを取り扱う。必ずしも受講学生の専門が社会学でなくとも、社会的な分析視点(論理的思考)を身につけてもらうことを目的とする。	○		金5					16130020
専攻展開	次世代日本型教育:理論と実践(地域C)	2	出口雅敏	本演習では、学校教育に多文化共生の視点を導入するため、文化人類学・民俗学をはじめとする文化研究と教育をつなぐ、理論と実践的方法を探る。	○		木5				中央6号館3階 欧米研究演習室	16130040
専攻展開	次世代日本型教育:理論と実践(生命B)	2	Ferjani Ali	本授業では、植物学の多様な知見を単独でなく、植物を一つの生態システムとして多元的に理解しつつ、植物に関する知識の細分化からの脱却を測りながら、知識の構造化を築くことを目的とする。	○		水5					16130060
専攻展開	次世代日本型教育:理論と実践(宇宙地球)	2	橋間昭徳	現在の固体地球科学の理解に欠かせない連続体力学や観測されたデータの解析法などの基本理論について、英文の教科書や専門論文の読解や演習を通じて理解を深める。	○		火2					16130070
専攻展開	地域文化・基礎	2	加賀美雅弘	世界の諸地域の文化をグローバル化とローカル化のなかで考察する。	○		木4					16130110
専攻展開	地域文化(日本)	2	水津嘉克	論文を書くうえで必要な、調査の考え方・手法について学習し、実際の調査のための「知識」を身につける。	○		木3					16130370
専攻展開	地域文化(ヨーロッパ)	2	若林恵	ドイツ語圏の文学作品や文献を用いて、人間形成や教育について考察・議論する。	○		金4					16130160
専攻展開	地域文化(社会人類学)	2	小西公大	社会人類学の基礎的な文献にあたりながら、グローバル化時代におけるローカリティの生成のメカニズムを学ぶ。	○			月6				16130170
専攻展開	異文化間交流・基礎	2	下田誠	東アジア地域の多様性の認識と漢字文化圏としての歴史的なつながりを基礎に、キャンパス・アジア構想を考える。	○		月2				西2号館2階 第3会議室	16130180
専攻展開	異文化間交流(移民・難民)	2	加賀美雅弘	都市に暮らす移民・難民・外国人の居住地区の景観に着目して、共生について考察する。	○		木4					16130190
専攻展開	異文化間交流(文化概念)	2	小西公大	文化概念の発生と現代的用法を通じて本質主義と構築主義のせめぎ合うポリティクスとしての文化的現象を捉える。	○			月6				16130200
専攻展開	異文化間交流(文化人類学)	2	出口雅敏	文化人類学、文化研究の専門論文やエスノグラフィを精読しながら、グローバル化時代の文化研究の理論と方法を習得する。	○		木3				中央6号館3階 欧米研究演習室	16130210
専攻展開	異文化間交流(歴史理解)	2	若林恵	ドイツやスイスの「過去の克服」と歴史教科書に関する文献を読み、考察する。	○		火4					16130230
専攻展開	Project Study on Education in Japan B	2	小森伸一	This lecture addresses the core concept of "Gaia Education," as sustainability Education, former certificated educational program by UNESCO, which focuses on sustainable society in the educational context.	○			火6				16130270
専攻展開	日本語教育 I A	2	岡智之	日本語教育の教育内容としての、日本語の文法を言語学的手法(認知言語学、対照言語学)を用いて分析し学ぶ。また日本語教育への応用について考える。	○		金4					16130280
専攻展開	日本語教育 I B	2	許夏玲	日常会話において、ある表現が実際どのように使用されているのか、聞き手がどのように話し手の発話意味を解釈するのかを語用論の観点から考察し、現代の日本語研究への応用について考える。	○		水2					16130290

科目区分	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1~5限	6~7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻展開	日本語教育ⅠC	2	小西円	日本語教育の方法論について理解を深めるため、コーパスを用いた研究の基礎を学ぶ。また、量的研究と質的研究の仕違を図る。	○		火2				教室未定	16130300
専攻展開	日本語教育ⅡB	2	許夏玲	対照言語研究を含め、日本の談話研究における視点を見る。本授業では、理論と実践の両方を重視し、先行研究の事例をもとにディスカッションを行うほか、会話データの文字化を練習するなど、談話研究への認識を深めていく。		○	水2					16130320
専攻展開	日本語教育ⅡC	2	小西円	日本語学習者の産出する言語や日本語教育の教材の分析を通して、教材開発の力を養う。また、言語能力・コミュニケーション能力について考える。		○	木2				教室未定	16130330
専攻展開	Global Citizenship and Sustainability A	2	○原田和雄、Ferjani Ali	Advances in science and technology and their impact on society are discussed from a global perspective.		○	木5				教室未定	16130340

教育支援協働実践開発専攻／教育AI研究プログラム

専攻展開科目

科目区分	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード	
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式	その他		
専攻展開(情報AI領域)	知的ソフトウェアシステム論	2	樋山淳雄	人工知能技術を用いたソフトウェアシステムについて、人工知能技術をどのようにシステムの設計・開発に用いているのかを学ぶ。		○	金	3				中央1号館1階 情報演習室 N106	16230040
専攻展開(情報AI領域)	人間情報学論	2	加藤直樹	人間情報学のうち特にHuman Computer Interactionを取り上げ、AI等のICTを適用する教育情報システムとの関係について学ぶ。		○	木	3				中央5号館3階 新たな学びの部屋	16230050
専攻展開(コンピテンシー・学校領域)	ヒューマン・コンピテンシー総論	2	○関口貴裕、宮寺庸造、中野幸夫	これからの社会を生きる子どもたちに育成すべきコンピテンシー(実際の資質・能力)の諸相について、主に心理学を理論的基礎として学ぶ。	○		月	3				教室未定	16231010
専攻展開(コンピテンシー・学校領域)	ヒューマン・コンピテンシー各論(発達)A	2	榑原知美	21世紀を生きる子どもたちに必要なコンピテンシーのうち、数量概念の発達など認知の発達と文化に関わるものを中心に学ぶ。		○	水	3					16231050
専攻展開(コンピテンシー・学校領域)	ヒューマン・コンピテンシー各論(発達)B	2	太田絵梨子	21世紀を生きる子どもたちに必要なコンピテンシーの発達や教授・学習過程について、心理学論文を題材としながら学ぶ。		○	火	2					16231060
専攻展開(コンピテンシー・学校領域)	ヒューマン・コンピテンシー各論(認知)	2	○犬塚美輪、関口貴裕	科学技術・情報技術が進化し続ける社会に必要なコンピテンシーについて、認知スキル、学習スキル等を中心に、心理学を基礎として学ぶ。		○	月	2					16231070
専攻展開(コンピテンシー・学校領域)	ヒューマン・コンピテンシー各論(社会)A	2	杉森伸吉	AI時代を生きる子どもたちに育成すべきコンピテンシー(実際の資質・能力)のうち、集団心理学に関するコンピテンシーについて学ぶ。	○		金	5					16231080
専攻展開(コンピテンシー・学校領域)	ヒューマン・コンピテンシー各論(社会)B	2	品田瑞穂	AI時代を生きる子どもたちに育成すべきコンピテンシー(実際の資質・能力)のうち、対人関係に関するコンピテンシーについて、社会心理学を基礎として学ぶ。		○	月	3					16231090
専攻展開(コンピテンシー・学校領域)	アントレプレナーシップ論	2	小宮山利恵子	イノベーションがどのように創出されるか、またそれに欠かせない起業家精神とは何かについて基礎を学ぶ。		○	水	2				教室未定	16231110
専攻展開(コンピテンシー・学校領域)	教育未来構想論	2	堀田龍也	最先端技術が先導する新しい社会における教育のあり方について検討する。		○		火	6			AL4教室	16231120
専攻展開(教育内容・実践領域)	文化社会系先導的教育応用実践論(言語)	2	白勢彩子	日本語の音声言語を、方言や他言語を比較しつつ学ぶことを通じて、言語の規則性や特質を理解する。また、これらの学びを踏まえて言語教育における音声言語の扱い、実践について考える。		○	金	3					16232010
専攻展開(教育内容・実践領域)	文化社会系先導的教育応用実践論(文化)	2	木村守	日中漢字の比較について考察するとともに、漢字の文化・背景と漢字コードの関係について理解する。また、これらの学びをとおして、ICT活用における漢字(文字)の活用・実践について考える。		○	火	5				教室未定	16232140
専攻展開(教育内容・実践領域)	身体系先導的教育応用実践論(医学)	2	齋藤従道	医学および運動処方領域の基礎とAIとの接点を学ぶ。		○	木	3					16232150
専攻展開(教育内容・実践領域)	身体系先導的教育応用実践論(心理)	2	奥村基生	体育・スポーツ心理学における基本的な理論を学ぶ。		○	木	4					16232050

教育支援協働実践開発専攻／臨床心理学プログラム

専攻展開科目

科目区分	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報		授業コード	
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式		その他
専攻展開(臨床・発達心理学領域)	臨床心理学研究法	2	池田一成	臨床心理学の領域における科学実践者としての態度と能力を、講義と演習形式を通して学ぶ。		○	火4				東5号館1階 教材開発研修室	16330030
専攻展開(臨床・発達心理学領域)	発達障害臨床心理学演習	2	池田一成	発達臨床の実践を基礎づける発達障害学や発達神経科学の知識について、講義と演習形式を通して学ぶ。		○	火3				東5号館1階 教材開発研修室	16330090
専攻展開(臨床・発達心理学領域)	臨床生理心理学特論	2	池田一成	生理指標を用いた心理学的アセスメントの方法について全般的知識と技能を学ぶ。	○		火3				東5号館1階 教材開発研修室	16330150

教育支援協働実践開発専攻／教育協働研究プログラム

専攻基礎科目

科目区分	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻基礎	教育ネットワーク論	2	○加瀬進、君塚仁彦	教育支援のネットワークによって営まれる学校教育のあり方について課題を設定し、グループワークを中心としつつ、さまざまな視点から考究する。		○		木6			AL4教室	16420010

専攻展開科目

科目区分	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1～5限	6～7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻展開(教育環境領域)	学校教育－生涯学習協働論A	2	君塚仁彦	子どもたちの健やかな成長や発達を目的とする学校教育と生涯学習との連携・協働について、美術館や博物館等の先進的な事例を紹介しながらその意義を論ずる。	○		火3					16430010
専攻展開(教育環境領域)	学校教育－生涯学習協働論B	2	倉持伸江	社会教育・成人教育の視点から、地域コミュニティにおける協働のあり方について、教育支援人材および専門職の役割や養成・研修についてなど、実践的・理論的に検討する。	○			火6				16430020
専攻展開(教育環境領域)	学校教育－生涯学習協働論E	2	大森直樹	学校教育と生涯学習の歴史と課題について先行研究や教育実践記録にもとづき認識をふかめる。	○			火4			東5号館3階 防災学習室	16430050
専攻展開(教育環境領域)	学校教育－文化遺産教育協働論A	2	日高慎	考古学・文化遺産に関わる研究成果をどのように学校教育等に生かしていくべきか、その方法を検討する。	○			木1				16430060
専攻展開(教育環境領域)	学校教育－文化遺産教育協働論B	2	新免歳靖	現在の教育現場における文化遺産・文化財の活用例を通して、その課題と方法を検討する。	○			火5				16430070
専攻展開(教育環境領域)	学校教育－文化遺産教育協働論C	2	李 堉 (Kang Lee)	文化財関連施設・機関における学校教育支援の取り組みについて、現場での見学・聞き取りを行い、その課題などについて検討を加え、成果を発表する。	○			水3			自然科学棟4階 地学・環境・文化財 実験室	16430080
専攻展開(教育環境領域)	学校教育－ソーシャルワーク協働論B	2	岡田哲郎	学校教育と地域社会の関係をふまえ、両現場が機能するために必要な地域福祉の実践、多様な主体による協働について検討する。	○			金3				16430100
専攻展開(教育環境領域)	学校教育－ソーシャルワーク協働論D	2	露木信介	「医療と福祉」をテーマとし、教育環境を整える上で必要となるソーシャルワーク実践理論について考察する。	○			月3				16430120
専攻展開(教育環境領域)	学校スポーツ活動支援論A	2	久保田浩史	運動部活動について、様々な支援者(顧問、外部コーチなど)の立場から考える。	○			月2				16430160
専攻展開(教育環境領域)	学校スポーツ活動支援論B	2	森山進一郎	学校でのスポーツ活動の支援や指導に必要なとなるスポーツ科学的知識について、幅広い視点から考察する。	○			月1				16430170
専攻展開(教育環境領域)	学校教育と日本語・母語学習支援論A	2	范文玲	日本語指導が必要な児童の抱える問題や取り組み、学校との協働による支援について検討する。	○			木7			中央6号館1階 アジア研究演習室	16430180
専攻展開(教育環境領域)	学校教育と演劇・映像B	2	花家彩子	演劇を中心としたパフォーマンスと教育活動の関係について、文献の講読をとおして学んでいく。	○			月2				16430220
専攻展開(地域創生領域)	コミュニティ形成と生涯学習B	2	倉持伸江	学び合うコミュニティの形成とその支援のあり方について、特にファシリテーターやコーディネーターの役割を求められる支援者の力量形成について、省察的実践論などを基盤に理論的・実践的に検討する。	○			火6				16431020
専攻展開(地域創生領域)	コミュニティ形成と生涯学習E	2	大森直樹	地域教育と人権教育について先行研究や教育実践記録にもとづき認識をふかめる。	○			火4			東5号館 防災学習室	16431050
専攻展開(地域創生領域)	コミュニティ形成と文化遺産教育A	2	日高慎	考古学・文化遺産に関わる研究成果をどのように地域社会の中で生かしていくことができるか、その方法を検討する。	○			木5				16431060
専攻展開(地域創生領域)	コミュニティ形成と文化遺産教育B	2	新免歳靖	地域の中にある多様な文化資源を見つけ出し、活用する調査・研究方法について検討する。	○			火3				16431070
専攻展開(地域創生領域)	コミュニティ形成と文化遺産教育C	2	李 堉 い がん(Kang Lee)	地域で継承されている有形文化財の製作と保存・保護の取り組みについて、写真資料や聞き取り調査を基に検討を加え、成果を発表する。	○			月3			自然科学棟4階 地学・環境・文化財 実験室	16431080

科目区分	授業科目名(日本語表記)	単位	担当教員	講義概要	開設学期		曜日・時限		開講情報			授業コード
					春期	秋期	1~5限	6~7限	隔年情報	集中方式	その他	
専攻展開(地域創生領域)	地域共生社会論B	2	岡田哲郎	地域の歴史・条件に即した共生社会の実現に寄与するコミュニティワーク、地域アセスメントの方法について学び、考察する。		○	水3					16431100
専攻展開(地域創生領域)	地域共生社会論D	2	露木信介	チーム医療とチーム学校との連携協働、統合や、地域を基盤とした包括的支援体制の構築に必要なソーシャルワーク実践理論について考察する。		○	火4					16431120
専攻展開(地域創生領域)	コミュニティスポーツ推進論A	2	久保田浩史	地域におけるスポーツ活動・イベントについて、実情を学び、その支援について考える。		○	金1					16431140
専攻展開(地域創生領域)	コミュニティスポーツ推進論B	2	森山進一郎	地域でのスポーツ活動の推進について、事例や具体的な方法について検討し、考察する。		○	水1					16431150
専攻展開(地域創生領域)	コミュニティ形成と言語・文化学習支援論	2	范文玲	外国にルーツを持つ子供たちのための、言語・文化学習面でコミュニティ形成・支援を検討する。		○	金5				中央6号館1階 アジア研究演習室	16431160
専攻展開(地域創生領域)	コミュニティ形成と演劇・映像D	2	花家彩子	演劇を中心としたパフォーマンスと教育活動の関係について、文献の購読をとおして学んでいく。		○	月2					16431210
専攻展開(教育法規・行財政領域)	教育制度論A	2	前原健二	学校教育及び学校外の教育に関わる社会的諸制度について文献購読を通じて学ぶ。	○		火3				西2号館2階 第3会議室	16432010
専攻展開(教育法規・行財政領域)	教育制度論B	2	前原健二	学校教育及び学校外の教育に関わる政策形成と制度構築について文献購読を通じて学ぶ。		○	火3				西2号館2階 第3会議室	16432020
専攻展開(教育法規・行財政領域)	教育制度論C	2	岩田康之	公教育と教師に関わるシステムについて、基本概念についてのテキスト購読を主に理解を深める。		○	火4				西2号館2階 第3会議室	16432030
専攻展開(教育法規・行財政領域)	教育制度論D	2	岩田康之	学校教育と教師に関わる制度的・政策的な改革動向について、事例を基に具体的な検討を加え、構造的な理解を深める。		○	火5				西2号館2階 第3会議室	16432040
専攻展開(教育法規・行財政領域)	教育法規・財政論A	2	佐々木幸寿	教育法、学校法についての講義、演習、討議を通じて、教育組織運営に必要な法的知識を体系的に学び、行政実務能力を身につける。	○			水6			中央7号館5階 教育学総合実験室	16432050
専攻展開(教育法規・行財政領域)	教育法規・財政論B	2	佐々木幸寿	学校教育に関する判例、学校法務について講義、演習、討議を通じて、行政運営に必要な危機管理能力、法的実務能力を総合的に身につける。		○		水7			中央7号館5階 教育学総合実験室	16432060
専攻展開(教育法規・行財政領域)	教育経営論A	2	末松裕基	教育経営改革の動向について理論的・実践的に考察し、教育経営の基礎的な理解を目指す。	○		水3					16432070
専攻展開(教育法規・行財政領域)	教育経営論B	2	末松裕基	教育経営の国際的動向について、社会・政治的背景も踏まえて理論的検討を行う。		○	水3					16432080

令和7（2025）年度 修士課程授業暦（東京学芸大学）

（多摩地区国立大学大学院単位互換制度に基づく特別聴講学生配付用）

春学期授業暦

○授業開始	4月8日（火）
△健康診断（在学生）実施に伴う休講	4月8日（火）～10日（木）
■昭和の日【通常授業】	4月29日（火）
創立記念日	5月31日（土）
△学部ターム制授業補講の実施に伴う休講	6月4日（水）、5日（木）
△教育実習オリエンテーション（学部）実施に伴う休講	6月20日（金）
■海の日【通常授業】	7月21日（月）
○授業終了	7月24日（木）
※補講期間	7月25日（金）～7月31日（木）

秋学期授業暦

○授業開始	10月14日（火）
△小金井祭後片付けに伴う休講	11月4日（火）
△臨時休講（特別入試の実施）	11月20日（木）、21日（金）
■勤労感謝の日（振替日）【通常授業】	11月24日（月）
△学部ターム制授業補講の実施に伴う休講	12月3日（水）、9日（火）
○年末年始休業前授業終了	12月26日（金）
○授業再開	1月5日（月）
△臨時休講（大学入学共通テスト準備）	1月16日（金）
〔大学入学共通テスト実施日 1月17日（土）・18日（日）〕	
△臨時休講（大学入学共通テスト振替休講）	1月22日（木）
○授業終了	2月9日（月）
※補講期間	2月4日（水）、10日（火）～13日（金）
□■建国記念日【月曜日の補講授業】	2月11日（水）

（注）○は授業の開始・終了、△は休講措置を伴う大学行事等、
□は通常の曜日と異なる授業実施日、■は祝日等休業日の授業実施日を示す。